

連続レクチャー 地球環境時代の「光の最前線」

第1回：ヨーロッパで挑む、「心を動かす光」

ヨーロッパでは、電球の使用を2010年に禁止すると定めた国が出るほど、環境問題への対処が急速に進んでいます。
「照明＝電気を消費するもの」という否定的な解釈がされがちな状況のもと、環境に配慮しながらも、光がもたらす心地良さや見た目の美しさを犠牲にすることなく、光を楽しむにはどうしたらよいのでしょうか。
ヨーロッパにおいて「光による街づくり」に挑んできた専門家を招き、お話をうかがいます。

講師

石井リーサ明理氏 (照明デザイナー)

ジュリアン・パピアール氏 (リヨン「光の祭典」プロジェクトマネージャー)

主催：カラーキネティクス・ジャパン株式会社

協力：フィリップス・ソリッドステート・ライティング・ソリューションズ社

建築家ジャン・ヌーヴェルによって改修された
リヨンのオペラ座からの眺望
Photo: Franck Guiziou

大阪

2008年7月23日(水)

14:30 - 18:00 (開場 14:00)

ザ・フェニックスホール

大阪市北区西天満 4-15-10

ニッセイ同和損保フェニックスタワー内

Tel: 06-6363-0311

<http://phoenixhall.jp/>



東京

2008年7月24日(木)

14:30 - 18:00 (開場 14:00)

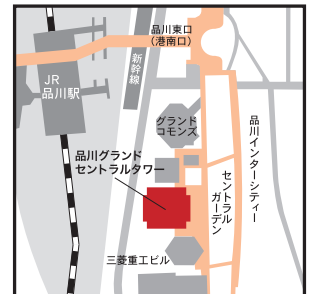
グランドホール

東京都港区港南 2-16-4

品川グランドセントラルタワー 3F

Tel: 03-5463-9971

<http://www.tg-hall.com/>



- * 両会場にて逐次通訳がございます
- * 参加無料
- * 事前登録制 受付期間 7月14日(月)まで (定員に達し次第、受付終了とさせていただきます)

ご参加お申込書 Fax: 03-3527-7771 E-mail: info@colorkinetics.co.jp

カラーキネティクス・ジャパン株式会社 行

ご参加会場 大阪 東京 いずれかに○をお付けください

お名前

ご勤務先

電話番号

所属部署

お問い合わせ先

カラーキネティクス・ジャパン株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明2-5-7 TOC有明ウエストタワー7F Tel: 03-3527-7760 Tel: 03-3527-7771



石井リーサ明理 Akari-Lisa Ishii

照明デザイナー

東京生まれ。東京芸術大学美術学部、東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。その間、アメリカUCLA、フランスのESDIにてデザインを学ぶ。ハーワード・ブランストン&パートナーズ (N.Y.)、石井幹子デザイン事務所 (東京)、ライト&シーブル (パリ) に勤務し、パリ・ノートル・ダム大聖堂などに参加。2004年にI.C.O.N.を設立。現在、ボンピドーセンター・メス、バルセロナ見本市会場、トゥール大聖堂付属修道院など大型・歴史的な照明プロジェクトに従事。都市空間からランドスケープ、建築、インテリア、イベント、舞台照明までをこなす光のプロフェッショナル。ヨーロッパ照明デザイナー協会会員。フランス照明デザイナー協会正会員。

著書『光に魅せられた私の仕事～ノートル・ダム ライトアップ プロジェクト』(講談社)、『都市と光～照らされたパリ』(水曜社)。



ジュリアン・パビアール Julien Pavillard

リヨン「光の祭典」プロジェクトマネージャー

巨大画像投影機「ピジ (PIGI)」を開発した両親の影響を受け、10歳の頃から光や映像の世界にふれる。社会学を学んだ後、研究活動を離れ、アートの分野に専念。「エクサンプロヴァンス国際歌劇芸術祭」(フランス) のアートディレクションのアシスタントを経て、家族が経営するウーテーサー・オーディオビジュアル社に参画。国際的な営業活動にたずさわる中、アジアと欧米の各地で数多くの光の専門家に出会う。その後、経営管理学修士 (MBA) を取得。ブラジルの文化行事運営機関での活動を経て、リヨンの「光の祭典」のプロジェクトマネージャーに選任される。祭典の価値を確立するという使命を受けて活動を続け、現在に至る。

光の祭典 Fête des Lumières

フランス南東部の都市リヨンにて、12月8日を含む4日間にわたり毎年開催されるイベント。市内各所に光の作品が登場するほか、建造物や道路での特別なライトアップも行われる。祭典に訪れる観光客は年々増加。リヨンにおける観光資源としての価値が高まっている。2008年の開催は12月5日～8日。
公式ウェブサイト <http://www.lumieres.lyon.fr/>

Fête des Lumières



◆ 連続レクチャー 地球環境時代の「光の最前線」開催主旨

これからの街づくりや生活スタイルを考えると、地球環境への配慮は欠かせません。

照明に関わる企業や専門家にとっては、見た目のデザインをするだけでは済まされない、厳しくも新しい時代が到来しています。

一方で、心地良さや楽しさをもたらす「デザイン」や「光のクオリティ(質)」の重要性も、広く理解されています。

環境問題への配慮をしながらも、デザインやクオリティを犠牲にすることなく、光を取り入れるにはどうすればよいのでしょうか。

光と向き合い、その可能性を見出してきた「光のエキスパート」を招き、お話をうかがいながら、未来の光のあり方を探ります。